

令和5年度 学校関係者評価報告書



学校法人森島学園

専門
学校 富士リハビリテーション大学校

学校関係者評価委員会

令和6年5月22日

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人森島学園
専門
学校 富士リハビリテーション大学校
学校関係者評価委員会

学校法人森島学園 専門学校 富士リハビリテーション大学校 学校関係者評価委員会は、「令和5年度自己点検・評価報告書」の結果に基づき、令和6年5月15日に学校関係者評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日：令和6年5月15日（水）19:00～20:15
2. 場 所：専門学校 富士リハビリテーション大学校 101 教室
3. 学校関係者評価委員会出席者

(1) 委員（出席4名）

氏名	所属等	選出区分
廣瀬 真人	富士整形外科病院 理学療法士/診療支援部門統括副部長	業界関係者
澤田 和也	湖山リハビリテーション病院 作業療法士/事務長	業界関係者
佐野 正夫	専門学校 富士リハビリテーション大学校 同窓会長	卒業生
田邊 享子	専門学校 富士リハビリテーション大学校 後援会長	保護者

(2) 学校（出席7名）

氏名	所属等	
内田 成男	専門学校 富士リハビリテーション大学校 学校長	—
遠藤 進	専門学校 富士リハビリテーション大学校 副学校長	
宮下 正好	専門学校 富士リハビリテーション大学校 教務部長	—
岡本 貴子	専門学校 富士リハビリテーション大学校 事務長	
市村 真樹	専門学校 富士リハビリテーション大学校 学生担当課長	
植田 英則	専門学校 富士リハビリテーション大学校 理学療法学科 学科長	—
岡本 博行	専門学校 富士リハビリテーション大学校 作業療法学科 学科長	—

4. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施については、令和5年度における本校の「自己点検・評価」を学校関係者評価委員会で確認し、自己点検・評価の各項目に対する意見と評価をとりまとめました。

また、評価結果については、今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かすとともに教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等にて公表いたします。

5. 令和5年度自己点検・評価における学校関係者評価

自己点検・評価表（2022モデル Ver. 2.0_B）

実施日：令和6年4月1日

学校名：専門学校 富士リハビリテーション大学校

1. 学校の教育目標

【教育理念】豊かな人間性と発想力を兼ね備えた、リハビリテーションのプロフェッショナルの育成

【教育目標】礼儀と思いやりを重視した教育により、気づきの感性を育み、臨床実践に必要な判断力と実行力を身につけた理学療法士・作業療法士の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 非常勤講師との連携体制の強化
2. 同窓会との連携強化
3. 富士市との包括連携協定締結に向けた取り組み

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. 非常勤講師への「学内報」を発行した。
2. 同窓会の役員、規約の再整備を援助した。令和6年度から同窓会の活動が再開できる見通し。
3. 富士市との包括連携協定を締結した（令和5年12月22日）

1 教育理念・目標			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			エビデンス
1	1	中項目 理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）					
1	1	1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	④	3	2	1 学生ハンドブック、スクールガイド、入学者選抜要項、HP、エントランスでの掲示
1	1	2 学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4+	3	2	1 学生ハンドブック、スクールガイド、入学者選抜要項、HP、全校集会資料、エントランスでの掲示、保護者会・後援会資料・議事録
1	1	3 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1 学生ハンドブック、スクールガイド、入学者選抜要項、HP、教職員会議等、エントランスでの掲示、
1	1	4 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	④	3	2	1 エントランスでの掲示、スクールガイド、入学者選抜要項、HP
1	2	中項目 教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）					
1	2	1 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	④	3	2	1 シラバス、学生ハンドブック、HP、年度毎の事業計画、事業報告、教育課程編成委員会議事録、学科会議事録
1	2	2 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	4+	3	2	1 シラバス、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、臨床実習指導者会議録、就職説明会実施記録
1	2	3 学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1 学生ハンドブック（学則・他諸規程）、シラバス、HP

① 課題

将来構想のための社会的なニーズについて計画的調査を更に充実させること。

② 今後の改善方策

ポストコロナの活動として、当該自治体等との包括連携協定を締結した。

学校の将来構想を具現化するため、定期的に自治体等と懇談会を開催し、社会的ニーズの把握に努める。

③ 特記事項

4年制教育課程の完成年度を迎え、充実した専門職教育が実施できた。2023年12月に地元自治体（富士市）との包括連携協定を締結した。また、看護専門学校との連携教育を開始し、多角的見地より専門職教育を展開できるようになった。

2 学校運営			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			エビデンス		
2	1	中項目 運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）							
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	年度計画書、教務部活動計画、後援会総会資料、理事会提出資料、
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	④	3	2	1	年度計画書、教職員会議（年度途中）、業務開始時の朝礼における情報共有
2	2	中項目 事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）							
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	④	3	2	1	年度計画書（学内運営会議議事録）、理事会・評議員会議事録、学校ポータルサイトでのスケジュール共有
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年間スケジュール（教育課程計画、主要行事、会議計画等）、学則、学生ハンドブック、臨床実習の手引き
2	3	中項目 運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）							
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	法人寄附行為・理事会規則、理事会議事録、評議員会議事録、運営会議議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	組織図、規程集、内部規程集
2	3	3	組織機能図があるか	A	④	3	2	1	組織図、規程集、内部規程集
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	B	④	3	2	1	運営会議議事録、学科会議議事録、教職員会議、その他の会議、年間スケジュール
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿（電子媒体）、研修計画書、就業規則
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	健康診断実施記録、就業規則
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	備品管理簿、施設点検記録
2	4	中項目 教職員の評価・育成（教員及び職員的能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）							
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	指定規則、教職員名簿、免許取得証書、教員研修受講終了証書 教員の実績一覧
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4+	3	2	1	教員数は指定規則以上の教員数を確保、計画的に採用活動を実施。 教員研修受講（全教員）、FD活動：職場内研修（OJT）の実施計画書

2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	④	3	2	1	FD委員会議事録、学生授業評価アンケート、HP上に公開
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	組織図、各種委員会・係名簿
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	教員研修、接遇セミナーなど
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	4	③	2	1	教員研修記録、学会・研修会等への参加記録（出張報告）
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	教員実績の調査、称号付与（教員）、教育実践報告集
2	4	24	「職業実践専門課程」専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	研修計画書・研修報告書、学会・研修会参加計画（経費計画）、教育実践報告集
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <u>専門能力開発の計画を作成しているか</u> （教職員研修計画の作成）	B	4	③	2	1	研修計画書、学会・研修会参加計画（経費計画）、教育実践報告集
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	③	2	1	学科会議事録、FRI学内報（非常勤講師版）
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	学園規程集：ポータルサイト（文書管理）に就業規則等を電子媒体文書にて管理
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	学園規程集：ポータルサイト（文書管理）に職員給与規定等を電子媒体にて管理
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	学園規程集：ポータルサイト（文書管理）に職員給与規定等を電子媒体にて管理
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	学園規程集：ポータルサイト（文書管理）に就業規則内に明記している。
2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	④	3	2	1	ポータルサイト（デスクネット）、学籍成績管理（教務部）、学生募集・学納金管理（事務部スクールリーダー）、臨床実習支援システム、連絡システム（学生・保護者・学校）の導入、求人情報管理システムの導入

① 課題

運営方針の教職員への浸透度はかなり改善している。

非常勤講師等への情報提供（学内報）が定期的に行っているが、連携は不十分である。

学修成果に基づく教員面接は必要に応じ実施されているが、やや不十分である。

教員の実績等の活動状況が取りまとめられている。

② 今後の改善方策

学校の運営方針について、定期的に計画書の確認を行う。
 教職員と非常勤講師との双方向の情報交換を行うことを検討する。
 教職員面接の実施について記録する。
 教育実践報告、教員実績等を共有する。

③ 特記事項

上記の規程、規則については、デスクネットで教職員全員が閲覧可能である。
 尚、学園諸規程については、専門家の指導を踏まえ、改定を実施した。

3 教育活動			カテゴリ	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			エビデンス		
3	1	中項目 目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）							
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	カリキュラムポリシー、HP、学生ハンドブック、教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④	3	2	1	カリキュラムツリー、カリキュラム
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	④	3	2	1	ディプロマポリシー、HP、学生ハンドブック、学校関係者評価委員会議事録
3	2	中項目 教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）							
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	カリキュラムツリー、カリキュラム、シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	シラバス
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	③	2	1	シラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	④	3	2	1	シラバス、授業実施記録、HP
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	4	③	2	1	学科会議議事録
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	④	3	2	1	姉妹校合同教育懇談会、姉妹校合同教育懇談会議事録、FD委員会会議録
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	④	3	2	1	授業評価アンケート公開シート、HP

3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	④	3	2	1	授業評価アンケート公開シート、FD委員会議事録
3	2	41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会名簿・議事録
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	教員研修会、伝達講習会、OJTシラバス
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価方法が事前に決められているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、臨床実習シラバス、臨床実習指導者会議事録、実習施設承諾書
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4+	3	2	1	臨床実習支援システム、臨床実習の手引き、臨床実習指導者会議事録、実習施設承諾書、教育課程編成委員会議事録、実習地訪問記録
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、実習施設承諾書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	学則、成績評価に関する規程、進級・卒業規程
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	学則、成績評価に関する規程、進級・卒業規程、学生ハンドブック
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	学則、成績評価に関する規程、進級・卒業規程、進級・卒業判定会議事録
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、シラバス、成績評価に関する規程
3	3	5	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	S	④	3	2	1	臨床実習の手引き、シラバス
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	④	3	2	1	卒業により得られる資格・称号一覧、成績証明書、卒業証明書
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、実習施設承諾書、シラバス
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	④	3	2	1	出張報告書

① 課題

シラバスで各回の内容は示し、授業ではコマ毎に行動目標・一般目標を提示しているが、コマシラバスの作成まで至っていない。

② 今後の改善方策

授業ごとに提示されている行動目標・一般目標をコマシラバス作成につなげる。

アセスメントポリシー委員会を進めていく。

③ 特記事項

臨床実習では臨床実習支援システムという施設・学生・教員が共通のツールで繋がり、進行具合を確認できるように取り組んでいる。

4 学修成果・教育成果			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			エビデンス		
4	1	中項目 学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）							
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	④	3	2	1	成績一覧
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	④	3	2	1	シラバス（成績評価方法）
4	2	中項目 就職率（就職率の向上が図られているか）							
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	4+	3	2	1	就職説明会（対面式・オンライン式）
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	就職活動状況報告
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1	就職活動届、就職届
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	④	3	2	1	スクールガイド、HP
4	3	中項目 資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）							
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	④	3	2	1	国家試験結果報告、シラバス
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	年間計画書
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	年間計画書
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	④	3	2	1	学科会議議事録、運営会議議事録
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	④	3	2	1	スクールガイド、HP
4	4	中項目 社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）							
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	3	②	1	

① 課題

同窓会と連携して卒業後も支援できるシステムについて検討を進めていくこととなった。しかし、同窓会自体の活動が滞ってしまったため、同窓会の運営の支援している最中である。そのため、まだ成果は挙がっていない。

② 今後の改善方策

継続的に同窓会と連携とるようにし、卒業支援システムの構築に向けて議論する場を設定していく。

③ 特記事項

5 学生支援		カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス	
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）					
5	1	1	A	④	3	2	1	学生指導相談記録簿、高等教育修学支援
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）					
5	2	1	A	④	3	2	1	就職説明会・キャリア支援・保護者会にて説明（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）					
5	3	1	A	④	3	2	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）
5	3	2	B	④	3	2	1	学生の面談・相談記録があるか
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）					
5	4	1	A	④	3	2	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
5	4	21	A	4+	3	2	1	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）
5	4	41	A	④	3	2	1	課外活動に対する支援体制は整備されているか
5	4	42	A	4	③	2	1	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）					
5	5	1	A	4	③	2	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）
5	5	2	A	④	3	2	1	退学率の目標を設定しているか
5	5	3	B	④	3	2	1	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか
5	5	4	B	④	3	2	1	退学者数を公表しているか

5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	A	④	3	2	1	保護者会報告書、学生指導相談記録簿、後援会役員・総会資料
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	B	④	3	2	1	保護者面談の実施、保護者会報告書
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	3	②	1	
5	7	21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	4	3	②	1	
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、HP

① 課題

進路・就職に対する支援体制はほぼ適切だが、周知の点では改善の余地がある。
 自宅から通学の学生が大半を占めるので、アパート探しの支援体制などは十分ではない。
 退学率の低減を図るための教育・個別相談を行い、徐々に結果に結びついてきていたが、前年度よりも退学率が上昇してしまった。更なる低減が必要である。
 卒業生への支援体制は、学校として十分な取り組みはできていない。

② 今後の改善方策

進路・就職に対する支援体制を、学生ハンドブックや支援システムを導入し周知していく。
 アパートが必要な学生には、入学時に相談する体制を整える。
 退学状況の分析・報告書を作成、退学率低減に対する施策を強化する。
 卒業生の支援を、同窓会と連携できる方法を模索する。

③ 特記事項

学外実習（臨床実習）で宿泊、通学定期券が必要な場合は学校で手配し、支援している。
 教員の中に卒業生がおり、同窓会の役員をしているため、間接的には卒業生支援に関わっている。
 同窓会の機能の改変に向けて卒業生と協力をしていきたい。

6 教育環境			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス	
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	④	3	2	1	校内配置図、物品管理簿、シラバス、時間割
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	④	3	2	1	図書目録
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	物品管理簿、学生ハンドブック
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	④	3	2	1	学生ハンドブック、玄関掲示
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	清掃チェックシート
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的には適宜行っているか	A	④	3	2	1	施設・設備点検報告書、電気設備点検報告書

6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	実習施設リスト、臨床実習の手引き
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	学内組織図、防災マニュアル
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	消防設備点検報告書、警備業務請負契約書（SECOM）
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	防災訓練実施要項、防災訓練実施記録
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	④	3	2	1	設備管理者一覧表

① 課題

個人情報の取り扱いについては臨床実習の手引き中に記載されているが、学内全体としての倫理規程は作成されていない。危機管理マニュアルが不完全である。

② 今後の改善方策

学内倫理規程の作成。危機管理マニュアルの作成。これらの規程、マニュアルについて教職員に周知徹底を行う。

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス				
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	③	2	1	広報担当組織図、スクールガイド、入学選抜要項、HP、高校訪問記録
7	1	2	入学受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学選抜要項、HP
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学選抜要項、HP
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学選抜要項、HP、高校訪問記録
7	1	6	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	J	④	3	2	1	スクールガイド、入学選抜要項、HP、学生ハンドブック
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	4	③	2	1	HP、校務分掌
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	4	③	2	1	スクールガイド、入学選抜要項、オープンキャンパス配布資料
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	④	3	2	1	入学前授業（プレスクーリング）、DVD教材学習

7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学者選抜要項、HP
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	④	3	2	1	入試基準、入試判定会議資料
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	入学者選抜要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	入学者選抜要項、入学生のしおり

① 課題

・作業療法学科、理学療法学科ともに昨年度より志願者が減少、入学定員に満たなかったため、募集活動の強化が課題となった。

② 今後の改善方策

・入試広報部門の部署を再編する→入試広報課を設置する
 ・学校説明会等による情報提供を見直す→説明会の参加回数増加、対応する職員の増員、オープンキャンパスの回数・内容を再考

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス				
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	学校自己点検・評価、校務日誌
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	④	3	2	1	学園組織規程、学園管理規則、学内組織図
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	学園就業規則、学園管理規則、学内ハラスメントの防止規則
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	学内配布端末利用規程、鍵付き書庫での学籍簿等保管
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	④	3	2	1	
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	B	4	③	2	1	
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会議事録
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	自己点検・評価担当者
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	③	2	1	学校関係者評価委員会議事録

8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育人人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）							
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	教職員会議	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	3	②	1	就職届	
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	④	3	2	1	学校関係者評価報告書	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	学校関係者評価報告書	
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	学校関係者評価報告書	
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	学校関係者評価報告書	
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）							
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	職業実践専門課程の基本情報、高等教育修学支援に関わる情報公開、HP	
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	学校関係者評価報告書、HP	
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1	学校関係者評価報告書、HP	

① 課題

- ・個人情報の取り扱いは適切に行われているが、プライバシーポリシー・個人情報保護規程など、文書化はされていない。
- ・学校関係者評価の結果の周知は教職員会議で行っているが、会議録等は残していない。
- ・卒業後のキャリア形成の把握はある程度できているが、データとしての収集、分析などには至っていない。

② 今後の改善方策

- ・個人情報保護にかかわる規程を整備する。
- ・学校関係者評価の結果は、教職員会議で周知し、会議録を残す。

③ 特記事項

- ・改善計画の作成、取り組みはここ数年で定着してきた。

9 財務			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス	
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	③	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	③	2	1	年度計画書・予算書
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	④	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録

9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	HP
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	④	3	2	1	HP

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

毎月の支出額及び残額一覧（管理表）を作成し、月ごとの支出確認と分析を行い予算が適正に執行されているか把握する。
前期末と後期末に執行状況を学校長へ報告する。

10 社会貢献・地域貢献			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・	エビデンス				
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4+	3	2	1	施設利用申請書、年間スケジュール、非常勤講師依頼書等
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	A	4+	3	2	1	介護予防事業依頼書、健康講座依頼書、富士市包括連携協定締結書 等
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	学友会総会資料

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・英検、関連団体の研修等で学校施設の利用を積極的に受け入れている。
- ・看護専門学校、高等学校から授業協力の依頼を受け、教員を派遣している。
- ・富士市の介護予防、健康増進などの事業を積極的に受け入れており、令和5年12月に富士市と包括連携協定を締結した。
- ・コロナ5類移行により、ボランティアの依頼が昨年度より増加し、参加できるようになってきた。ボランティアは学友会の事業として行っている。

6. 学校関係者評価委員からの質問・意見・提案事項 等

(1) 同窓会と学校との連携

- ・ 卒業生の中には、同窓会が何をやる団体なのか分からないという意見もある。
- ・ 研修会や学校と連携した活動などができると良い。
- ・ 研修の企画を学校教員が紹介した例もある。そのような形でも連携できる。
- ・ 同窓会は学校への貢献、ボランティアなどの人材バンクになると良いか。
- ・ 学校のホームページに同窓会のページを置いてもらうと良い。就職などで同窓会に相談があればその窓口にもなれる。

(2) 学生数、学生募集

- ・ 中途退学の時期や理由は。
- ・ 中退は1年生で多い。入学して数か月経過した頃に現状（学業の難しさ等）に気づき、退学を考える。もう1つは進級が難しくなった段階で退学を選択する。
- ・ 定員80名（両学科合わせて）に対して入学63名ということだが、全国的な水準としてはどうか。
- ・ OT学科は定員を割れている養成校が多いと聞く。本校は過去10年みて最も少なかった。
- ・ 現場でもOTの求人には苦勞している。
- ・ 入学者が少ないので求人に影響する。入学者を増やす余地はまだあるので、求人に応えられるよう、学生募集をやってきたい。

(3) 財務

- ・ 物価高の影響はどうか。
- ・ 光熱費、紙代など高騰している。電力業者など、安価な業者を選定するなど工夫している。
- ・ 臨床実習が遠方の場合の宿舎は、家賃の値上がりがあり、実習費用を圧迫している。
- ・ 施設の修繕が必要な箇所がある。施設メンテナンスにも出費が増えている。

(3) 臨床実習、キャリア支援

- ・ 臨床実習支援システムは、いつでも教員に連絡。相談できるので学生にとって良いと思う。
- ・ コロナの影響でコミュニケーション弱い学生が多いように思うが、富士リハは学校でコミュニケーション鍛えられる。
- ・ 求人情報をwebで閲覧できるシステムを導入した。こういったものが卒業生、同窓会にも広げていけると良い。

7. 令和6年度にむけての重点目標・改善計画

(1) 学生募集の強化

【目的】

- ・ 定員充足を目標とする。作業療法学科は入学者が少ないため、求人に応えられないので、医療施設の求人に応えることも目的とする。

【令和6年度の改善計画】

- ・ 入試広報部門を新設、広報費の増額、広報スタッフの増員などにより、募集広報の範囲を広げていく。
- ・ オープンキャンパスを強化し、志願者に職業・学校についてこれまで以上に伝えていく。

(2) 非常勤講師との連携強化

【目的】

- ・ 非常勤講師との連携を深め、教育の充実につなげていく。

【令和6年度の改善計画】

- ・ 令和5年度と同じく、「学内報」で学校の状況をお伝えし、非常勤講師とのコミュニケーションを深める。

8. 総括

昨年度の重点目標として、①非常勤講師との連携強化：双方向性の意見交換ができる環境を検討する。②同窓会との連携強化：同窓会活動の活性化について支援策を検討する。③富士市との包括連携協定締結に向けた取り組みの推進の3点を掲げ取り組んできた。この重点目標の達成状況は、以下の通りである。

<2023年度 重点目標の達成状況>

- 1) 非常勤講師との連携強化：「学内報」（教務部長）にて情報提供するとともに、担当教員より個人的にシラバス作成から授業サポートを行った。ただし、双方の意見交換の場を設定するまでには至っておらず、今後の課題としたい。
- 2) 同窓会との連携強化：新たな同窓会組織体制を構築し、学校との関係性強化の礎ができたと思われる。今後、研修会企画、転職やボランティア活動等の情報交換を活発化していきたい。
- 3) 富士市との包括連携協定：2023年12月22日（金）に包括連携協定を締結することができた。また、協定の締結式は本校にて開催し、富士市長はじめ市当局の幹部（副市長、総務部長、保健部長、福祉部長等）に校舎内を視察していただくとともに、本校の取り組みをご理解いただく機会となった。今後とも具体的な連携事業を推進していく。

<2024年度の重点目標・改善計画>

- 1) 学生募集の強化：社会のニーズに対応すべく、入試広報課を新設して精力的に取り組んでいく。
- 2) 同窓会および非常勤講師との連携強化：継続課題として、相互交流を深めていく。

昨年度の新学則・4年制教育課程の完成年度を経て、今年度は次のステップに向けて取り組みを強化していく。とりわけ、学校運営の基本である学生募集活動を強化すること、ICT教育の取り組みを推進することは継続的に行っていく。また、卒業生・在校生との連携強化を図り、教育内容の向上、退学防止に努めるとともに、財務状況について教職員間で情報共有し、より良い学校運営を推進していきたい。